

第4章 安城市の現状分析

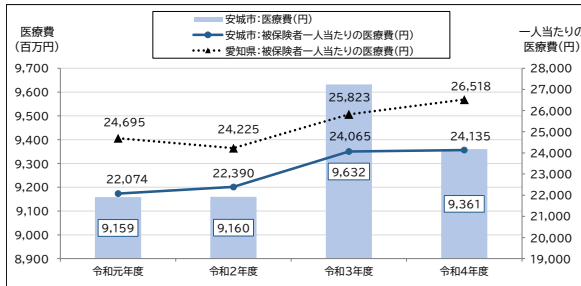


1. 現状の分析

医療費(全体)

医療費は91億5千万円～96億3千万円を推移しており、被保険者一人当たりの医療費(1か月相当)は国と愛知県よりも低い水準で推移していますが、令和元年度22,074円から令和4年度24,135円と増加傾向にあります。令和3年度の医療費の増加は令和2年度の新型コロナウイルス感染症による受診控えの反動が考えられます。

【参考資料 P48 年度別 医療費の状況 より引用】



医療費(生活習慣病)

中分類による疾病別医療費と患者数上位では、糖尿病、高血圧性疾患、脂質異常症などの生活習慣病の基礎疾患と重症化疾患である腎不全が挙がっており、医療費全体に占める生活習慣病の割合は20%になります。

早期発見、早期治療による重症化予防の取り組みが必要となります。

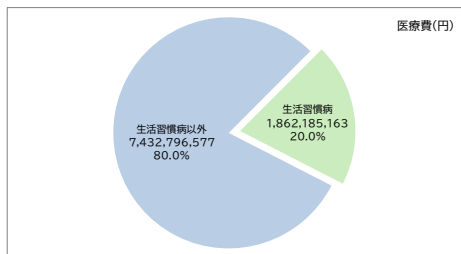
【参考資料 P52

中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病) より引用】

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円)	罹患率(%) (医療費総額全体に 対し占める割合)	患者数(人)	患者一人当たり の医療費(円)
1	0210 その他の慢性腎臓病<慢性>	658,660,509	7.1%	3,019	218,172
2	0402 糖尿病	521,271,585	5.6%	8,451	61,684
3	1113 その他の内分泌系の疾患	478,765,387	4.9%	8,551	49,067
4	0903 その他の心疾患	372,110,486	4.0%	5,045	73,758
5	0901 高血圧性疾患	352,344,051	3.8%	10,167	34,656
6	0205 気管、気管支及び肺の慢性疾患<慢性>	340,274,689	3.7%	519	655,635
7	1402 腎不全	339,447,832	3.7%	1,512	224,503
8	0503 骨付不全症、骨付不全症治療後及び変形性骨質	288,858,861	3.1%	1,102	262,127
9	0403 糖尿病性	287,581,014	3.1%	8,222	31,191
10	0606 その他の腎臓系の疾患	286,622,738	3.1%	5,575	51,412

【参考資料 P53

医療費全体に占める生活習慣病医療費の割合 より引用】

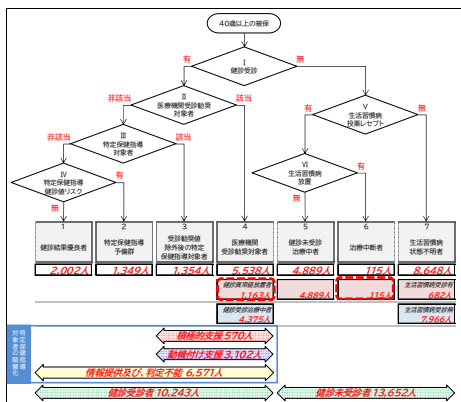


指導対象者群分析

特定健康診査データ及びレセプトデータから令和4年度において、健診異常値放置者が1,163人、治療中断者が115人確認できます。この対象者群は重症化が危惧されるため、適切な医療に結び付ける取り組みが必要となります。

【参考資料 P57 特定健康診査及びレセプトデータ

による指導対象者群分析 より引用】



糖尿病性腎症重症化予防

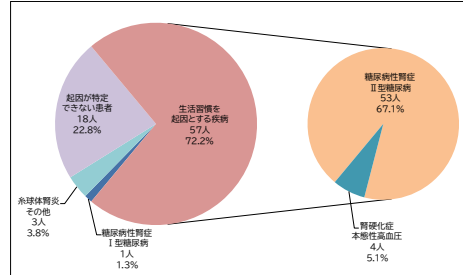
透析患者の医療費は年間約600万円近くかかっています。

また、透析患者の70%以上は生活習慣病を起因としています。

【参考資料 P58 透析患者の医療費 より引用】

透析患者の起因	透析患者数(人)	医療費(円)		
		透析関連	透析関連以外	合計
透析患者全体	79	420,284,210	44,081,000	464,365,210
患者一人当たり 医療費平均		5,320,053	557,987	5,878,041
患者一人当たりひと月当たり 医療費平均		443,338	46,499	489,837

【参考資料 P58 透析患者の起因 より引用】



受診行動適正化

令和4年度において重複受診者が131人、頻回受診者が461人、重複服薬者が412人存在しています。医療費適正化の観点から、適正な受診行動に結び付ける取り組みが必要となります。

【参考資料 P59

受診行動適正化指導対象者に係る分析 より引用】

	令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月	令和4年10月	令和4年11月	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月
重複受診者数(人) ※	10	14	18	16	15	15	12	22	19	13	20	24
12カ月間の延べ人数	198人											
12カ月間の実人数	131人											

	令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月	令和4年10月	令和4年11月	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月
頻回受診者数(人) ※	152	129	141	124	110	134	131	120	118	92	103	144
12カ月間の延べ人数	1,498人											
12カ月間の実人数	461人											

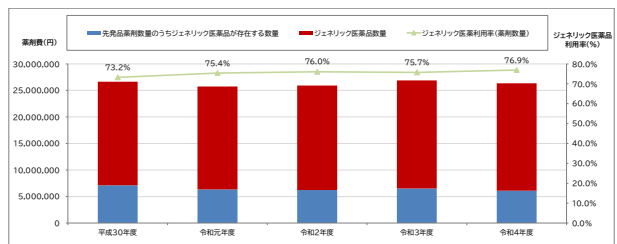
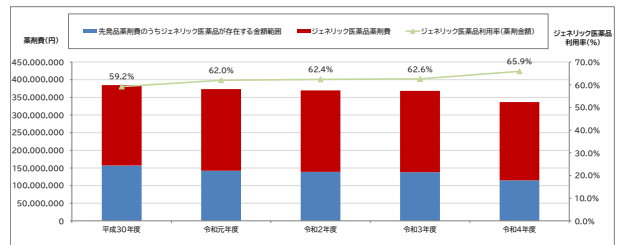
	令和4年4月	令和4年5月	令和4年6月	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月	令和4年10月	令和4年11月	令和4年12月	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月
重複服薬者数(人) ※	18	51	66	69	60	61	68	75	89	88	80	89
12カ月間の延べ人数	814人											
12カ月間の実人数	412人											

ジェネリック医薬品

ジェネリック医薬品利用率(医科分と調剤分の計)は、数量ベースでは令和4年度76.9%と国の目標値である80%には到達していません。

【参考資料 P60

ジェネリック医薬品利用率に係る分析 より引用】



長期多剤服薬者に係る分析

令和4年度において、長期多剤服薬者(6種類以上)が1,463人存在しています。特に高齢者では薬の飲み忘れ、服薬過誤、副作用等の薬物有害事象につながる恐れがあります。適切な服薬行動につながるよう取り組みが必要となります。

【参考資料 P61 長期多剤服薬者に係る分析 より引用】

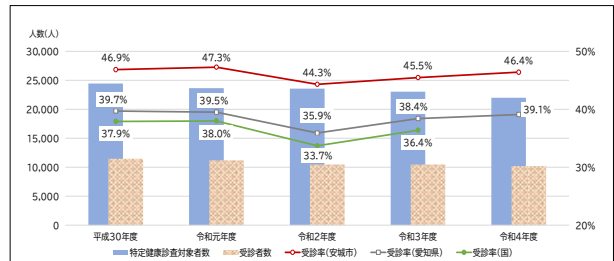
年齢階層	対象者数(人)									
	～39歳	40歳～44歳	45歳～49歳	50歳～54歳	55歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～	合計	
被保険者数(人)	6,874	1,494	1,737	1,950	1,846	2,828	5,500	8,540	30,769	
2種類	53	10	11	15	21	32	81	129	352	
3種類	77	16	23	28	26	52	110	209	541	
4種類	32	13	22	24	28	48	124	213	504	
5種類	34	8	25	23	23	41	93	210	457	
6種類	27	6	17	18	19	43	84	176	390	
7種類	10	7	12	13	20	17	68	132	279	
8種類	14	12	3	10	11	31	46	102	229	
9種類	15	5	6	14	9	15	35	73	172	
10種類	7	4	7	3	6	12	31	46	116	
11種類	3	2	5	7	6	10	21	33	87	
12種類	5	5	4	10	4	5	7	21	61	
13種類	5	3	2	1	5	4	1	10	31	
14種類	0	1	2	1	2	4	3	9	22	
15種類	1	1	3	1	0	1	1	3	11	
16種類	0	5	2	2	1	1	2	5	18	
17種類	1	1	0	1	5	0	0	2	10	
18種類	1	0	1	2	2	1	2	1	10	
19種類	3	1	1	1	1	1	0	3	11	
20種類	1	0	1	0	4	0	1	0	7	
21種類以上	2	0	1	0	3	1	0	2	9	
合計	291	100	148	174	196	319	710	1,379	3,317	

特定健診

令和4年度の特定健康診査受診率は46.4%で愛知県と比較すると7.3%高く、国及び愛知県より高い水準で推移していますが、国の目標値である60%には到達していません。

男女別でみると、女性の方が受診率が高いです。

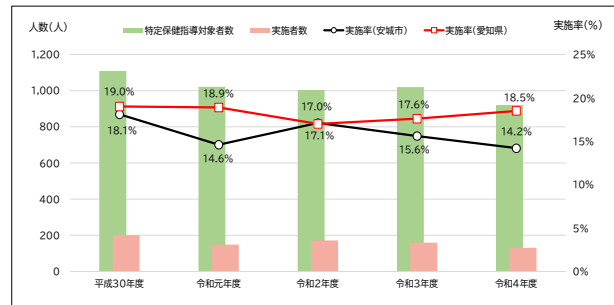
【参考資料 P62 年度別 特定健康診査受診状況 より引用】



特定保健指導

令和4年度の特定保健指導実施率は14.2%で、国及び愛知県と比較すると低い水準を推移しています。

【参考資料 P63 年度別 特定保健指導実施状況 より引用】



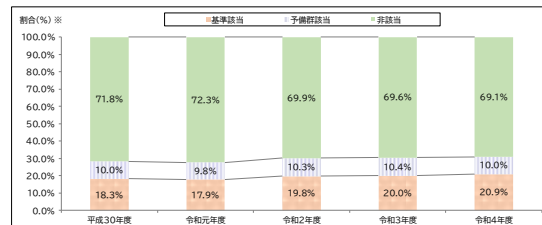
特定健康診査に係る分析

年度別にみると、メタボリックシンドローム該当者の割合が増えており、HbA1cの有所見者割合も増えています。

年度別の質問別回答状況でも間食や甘い飲み物、アルコールを摂取する人が増加し、58.7%の人は運動習慣がありません。被保険者の健康意識の向上に資する取り組みが必要となります。

【参考資料 P64

年度別 メタボリックシンドローム該当状況 より引用】



【参考資料 P65 年度別 有所見者割合 より引用】

